

日本学生支援機構奨学金「特に優れた業績による返還免除」(大学院第一種奨学金) 申請要領

1. 対象者

令和4年度中に日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を終了する大学院生(退学・辞退を含む)

2. 申請要領

①申請書類等のダウンロード期間・・・令和5年1月16日(金)～

(ダウンロードデータ)

- 1) 業績優秀者返還免除申請書(様式1)
- 2) 業績評価基準表(修士・博士前期課程、専門職学位課程)又は(博士・博士後期課程)
- 3) ティーチング・アシスタント等の証明書(書式例1)
- 4) (専攻分野に関連した)ボランティア活動の証明書(書式例2)
- 5) 様式記入例

②申請書類等の提出期間・・・令和5年2月3日(金)～令和5年2月10日(金)

<受付時間> 午前9:00～12:00 午後14:00～17:00

(提出先): 学生支援センター 奨学金担当

※坂本地区の申請者は、所属する研究科の大学院係でも受け付けます。

※提出前にHPのフォーム(1/27掲載予定)により申込入力願います。

(提出書類): 必要事項を全て記入すること

1) 業績優秀者返還免除申請書(様式1)

※本人氏名欄は必ず自署すること

※記入例を参考に記載すること

2) 業績評価基準表(修士・博士前期課程、専門職学位課程)又は(博士・博士後期課程)

※本人氏名欄は必ず自署すること、指導教員にサイン(直筆)をもらうこと

3) 業績を証明する書類(以下参考)

- ・ ティーチング・アシスタント等の証明書(書式例1)、または発令通知書のコピー
- ・ (専攻分野に関連した) ボランティア活動の証明書(書式例2)
- ・ 講演プログラム、発表会のプログラム等のコピー
- ・ 発表論文のコピー
- ・ 海外における国際協力活動を証明するもの等のコピー
- ・ (教育学研究科のみ) 音楽・演劇・美術・その他芸術の発表会、スポーツ競技会における成績を示すもの等のコピー

※業績の対象は、大学院奨学金貸与期間中に挙げた(挙げる)ものに限ります。

※**蛍光ペンでマーキングするなど証拠としたい箇所を明確にすること**

※「**業績優秀者返還免除申請書**」に記載した業績内容を証明できる資料を提出してください。

不足している資料がないか、提出前に確認願います。

③選考結果通知・・・令和5年7月下旬(予定)

採用となった場合は日本学生支援機構から直接本人に、不採用の場合は大学から本人宛に郵送で通知しますので、貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびきを参照の上、必ず5月末までにスカラネットパーソナルから機構に住所変更の届け出をしてください。また、必ず郵便局に転居届を提出してください。例年、宛先不明で書類が戻ってきています。

3. 注意事項

①各申請書類中の「学籍番号」欄には、全て「学生番号」を入力してください。

②業績優秀者返還免除申請書(様式1)は、『業績の種類(1)～(3)』をよく読んで記入してください。

③ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントについては、正式に発令があったもののみが対象となります。(発令がなく、単に教員からの依頼で補助(アルバイト)をした場合や技能補佐員等は該当しません。)

④(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動を証明するものとして、

1. 申請者本人が参加したことを証するための、ボランティア活動を紹介する新聞、雑誌等の記事、テレビによる紹介、ボランティア団体発行の証明書等。

および

2. 当該ボランティアが専攻分野に関連したものであるかを証するため、指導教員によるボランティア活動証明書(書式例2)を提出してください。(指導教員が参加の事実を証明できる場合は1の提出は不要)

ボランティアは専攻分野に関連し、無償であることを原則とします。

⑤業績評価基準表、ティーチング・アシスタント等の証明書及びボランティア活動の証明書の指導教員のサインは直筆を原則とします。

⑥学会発表や発表論文については、「発表者氏名・題目・学会名・発表番号・開催場所・開催日」が記載されているページのコピーを提出してください。各書類の右上に、「氏名」、「業績優秀者返還免除申請書(様式1)」に対応する記号(例:業績の種類1～10を必ず記入してください。更に、自身がファーストオーサーの場合には、右上に記入する「氏名」の前に◎を記入してください。

⑦博士(博士後期)課程の学生で、日本学術振興会の特別研究員に採用されて奨学金貸与を辞退した(する)場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退する場合は、業績優秀者返還免除申請書(様式1)にその旨を記載してください。

⑧業績優秀者返還免除申請書(様式1)に記載のある項目以外の業績については評価対象にはなりません。

⑨業績優秀者返還免除申請書(様式1)や業績評価基準表について、記載内容に不備や誤り等があると、審査において不利になる場合がありますので、準備や入力の際は注意をして行ってください。

⑩申請期限を厳守すること。提出期間締切日に近づくにつれ提出者が多くなり、毎年長い待ち時間が発生しています。**特に最終日に集中する傾向がありますので、早めの提出を心がけてください。**